

「一年を振り返って」

南山田自治会長 西嘉山 武



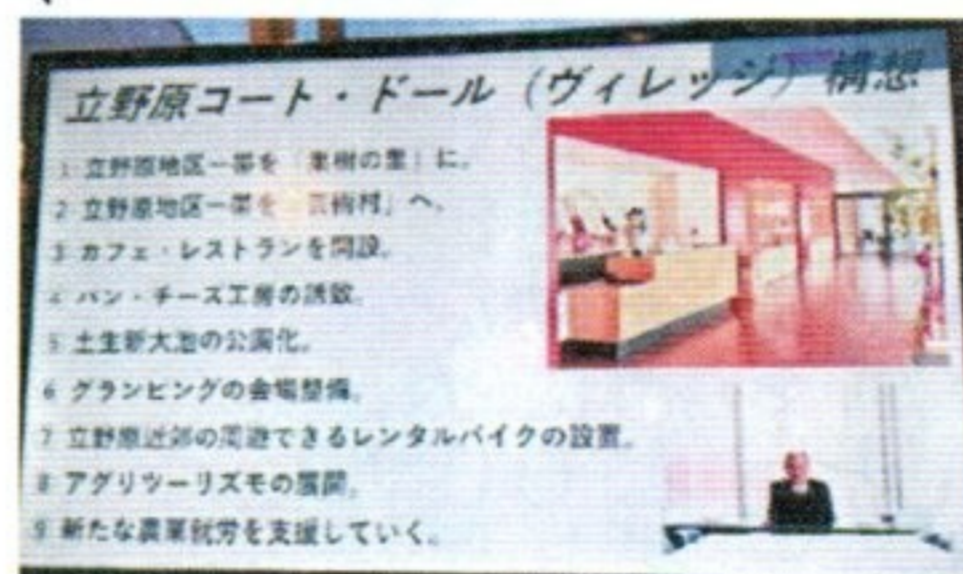
地域の皆様におかれましては、日頃より自治会活動に対するご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

この一年を振り返ってみますと、「デイスカパー桜ヶ池・わくわくウオーク」と銘打って桜ヶ池周辺施設を巡った南山田フェスティバルをはじめ、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した避難所運営を模擬して行った南山田地区自主防災訓練、楽しい催し満載の敬老会&文化祭など3年ぶりの本格開催となった地域づくり協議会主催の各種イベントに自治会長会も理事として共に活動させていただきました。これらのイベントにおいては、多くの方々にご参加いただいて、たくさんの笑顔や真剣に取り組む眼差しを多く見ることができました。新型コロナウイルス感染症の拡大により人々の生活様式は大きく変化しましたが、人と人とが交流し、つながることができ、場・機会の大切さに変わりはなく、その重要性はむしろ高まっていると再認識しました。

「情熱は伝播する」。これは昨年



11月の自治会長会研修で訪れた立野原ワイナリー工場「トレボ」の社訓です。同社長のワインづくりに対する情熱が地域の



の方々をはじめ多くの人に伝わり支援を受けて立派な工場や農地を作り上げ、更には地域の方々に恩返しする構想を熱く語っていただきました。まさに社訓を体現化されており、非常に感銘を受けました。

少子高齢化、人口減少が進んだ今、地域の活力を維持し活性化につなげていくためには、若い方々を中心に幅広い世代が気軽に参加できる行事や、防災を切り口として住民相互が知り合う機会づくりを更に進めていく必要があります。



自治会長会においては、ポストコロナを見据えた持続可能な地域づくりに今後情熱を持って参画していきたいと思っております。

「コロナ禍でさらに」

活動が縮小」

南山田老人会

会長 山下明人



老人クラブ会員の皆様におかれましては、単体クラブの活動、さらに南山田

老人会・城端老人クラブ連合会の行事等にご協力頂き有難うございました。

昨年の春から、コロナ感染者が減少しつつあり、終息するのかもしれないと思っておりますが、夏以降急激に増加し、富山県でも毎日千人を上回る感染に、会話はコロナの事ばかり、そのような中、更に活動の減少、中止となりましたが、最小限度の活動を行いました。



① ふるさと美化運動

各単位クラブから参加頂き、5月～2月まで城端別院の清掃・花壇

の設置を行いました。

② 高齢者支援活動

女性部による高齢者宅への「安全確認」の訪問支援を、5月から11月にかけて実施いたしました。

③ なんと彩葉祭り

10月23日に、城端別院境内で開催し、遊休品・農産物等の販売に協力しました。



これらの行事に参加いただいた役員・会員の皆様には深く感謝申し上げます。



昨年12月頃から、5回目のワクチン接種も進み、今年5月からは、マスク着用も個人の判断での事。このまま終息へと向かい、以前の活動が出来る事を願っています。

『南山田地区の交流で笑顔を』

学習・スポーツ部会

部会長 松嶋 裕治



私にとりまして2年目となる令和4年度の学習スポーツ部会はコロナ禍ではありましたが、計画の事業をほぼ無事に開催することが出来ました。各役員・理事の皆様へ感謝申し上げます。

開催の事業は、5月のバスツアー、6月は桜ヶ池わくわくウォーク、7月の親子活動を対象としたわんぱく塾、10月の敬老会文化祭、1月のみなくるフェスティバル等々コロナ感染予防に十分な注意をしながら多数の参加を頂きました。しかし、9月に予定しておりました、みなくるスポーツ大会は、理事会で承認頂き、これまでの大運動会に替わる新たな内容での開催を計画しましたが、コ



ロナ感染状況で急遽中止となりました。来年度は是非とも開催出来ることを願っております。ところで、南山田地区の宝でもあります。桜

ヶ池周辺にスポーツウエアメーカーのゴールドウィンが大型規模のプレイヤーズパークを建設するという朗報があります。また近々、スマートインターチェンジの完成・高速道路の複線化など、5年後の活性化した南山田の将来が期待されます。



この冬、3年ぶりにインフルエンザが流行し始め、依然新規感染者が後を絶たないコロナについては、1類から5類への分類移行が予定され、感染にはまだまだ不安が残ると思われる。明るい将来を期待して、次年度も南山田地区民の安全を第一に事業を進めたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



『福祉部会より』

健康・福祉部会

部会長 山田 厚



昨年10月30日、JA農協会館にて3年ぶりに敬老会、文化祭を開催する

ことが出来ました。感染対策をとりながら、飲食は出来ませんでした。久しぶりのイベントにたくさんの方に参加して頂きました。歌謡シヨウ、民謡、雅楽、フラダンス等の催しに大いに盛り上がり楽しんでいただけだと思います。

昨年、南山田地区でめでたく米寿をお迎えになられた方26名おられ



皆さん大変元気です。日本はすでに4人に1人が65歳以上の超高齢化社会に入っています。

年をとると誰もが体力や筋力が低下し、チヨット出かける等の行動が面倒だと感じるようになってきます。そして人と接する機会が減り、食事のバランスが崩れ、体の衰え、認知機能といった頭の働きも低下すると言われていきます。こうした事を防ぐ為にも人と接する機会を増やす、事(イベント)の気軽に行ってみよう、行ってみたい



と思われるような機会を増やしていく事が重要だと思います。

健康福祉部会では「みなくる会」の活動が中心ですが、今後各地域でのサロン等の活動の中に参加してみたい、やってみたい、と思われるような提案が出来ればと思います。





まちづくり・環境・産業部会 部長 神田 清

【当部会の昨年度の取組み説明】

1, 資源回収について

春と秋の2回資源回収をしておりますが、各自治会長様はじめ地域の皆様はその都度ご協力頂いており、厚くお礼申し上げます。昨年度の回収実績を前年度と比較して見て頂きたいと思っております。

	新聞(Kg)	雑誌(Kg)	段ボール(Kg)	総重量
2021 春	12,380	4,480	3,400	20,260
2021 秋	7,830	5,030	3,620	16,480
2022 春	13,840	5,400	4,080	23,320
2022 秋	12,000	3,780	3,780	19,560



2, つごもり大市について

昨年2月28日のつごもり大市に、2回目の出店を行うことになりましたが、今回は「南山田地域づくり協議会」と大きく書いた文字入りイベント用テントを初めて使用させて頂くことになりました。

販売内容は無農薬野菜を中心に小松菜、ほうれん草、人参、キャベツ、そして、トマトスープ、健康茶、大学芋、赤飯などを準備して水上会長、事務局、

部会スタッフの皆さんの協力で盛況に終えることが出来ました。

3, クライミング日本選手権大会 物販販売

昨年の5月14日〜15日の両日開催のクライミング選手権大会に、会場となる桜ヶ池クライミングセンターより物販販売の打診があり、協議の結果初めては有りましたが、昼食用のメニューをメインとして1日のみ販売を行うことに決定致しました。コロナ禍の開催ということもあり、選手とその関係者のみ会場に入れるという制約の中で行われたことも影響して、弁当3種類、サンドイッチ2種類、フランクフルト、コロッケ、シュークリーム等を揃えましたが選手は競技中(お昼も競技続行)あまり食べられない、1日目は昼食の持ち込みも考えられる等、今回の課題となりました。



のみ会場に入れるという制約の中で行われたことも影響して、弁当3種類、サンドイッチ2種類、フランクフルト、コロッケ、シュークリーム等を揃えましたが選手は競技中(お昼も競技続行)あまり食べられない、1日目は昼食の持ち込みも考えられる等、今回の課題となりました。

4, 低温による凍結被害発生

1月末の大雪と低温による水道管の漏水被害が南山田地区内でも発生しております。

特に空き屋の場合は発見が遅れているのが現状です。今後は一人暮らしの高齢者宅も含めて、各集落民生委員及び地域福祉推進委員連携で早期発見に努めて頂きますようお願い致します。

安全・防災部会

部長 八畑 豊四郎



平成23年に城端地域子ども見守り隊として発足してから早十年を経過して、この節目を機会に地元により密着した活動をするため各地域に分かれて活動をする事になり活動を受け継ぐために「南山田地区子ども見守り隊」が発足しました。



地域づくり協議会ではいち早く見守り隊のベストや帽子をそろえて隊員の活動を支援してまいります。

子どもに関する環境は、声かけやスマホなどでの盗撮などの事案が比較的学校の下校時などで発生しています。



かけがえのない子供たちを守るため隊員皆様の見守りをはじめ住民の皆様の見守りご支援をよろしくお願い致します。

昨年度は久しぶりに南山田地区では住宅火災が発生しなかつたとのこと今年も火の用心をお願いいたします。



平成20年の豪雨災害の際は南北に細長い南山田地区では山間部は土砂災害が発生し、また平野部では洪水災害発生しました。また、東日本大震災の激甚災害などから防災意識の高まりをとらえて南山田地区独自のハザードマップの作製に取り組みました。

土台として様々な防災関連の避難場所などの施設などを加えて出来るだけ煩雑にならない様なマップ作り心がけ、結局三年余りを要してやっと完成しまして各公民館に掲示いただきました。

また各家庭には非常持ち出しグッズなど記載した避難所マップ入りの「南山田地域防災マップ」ケースをこれは南山田地区の全戸に配布致しました。



わが家の防災メモにも記入していただき、もしもの時に備えてぜひ有効にご活用ください。

地域の安心安全は地域づくり活動と直結しています。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「交通安全は私達の手で」

南砺市交通安全協会城端地域支部
南山田地区支部長 山下 博



当南山田地区
支部では支部役員
方のご協力により
毎年の活動をして
おります。

年間の主な活動についてご紹介を
致します。

春と秋の全国交通安全運動期間中
は、管内主要交差点（4箇所）にて
役員による街頭指導、交通安全のほ
り旗の掲出、城端駅前での交通安全
キャンペーンなどを行っています。

夏の交通安全県民運動期間中は、
のぼり旗掲出の他に城端地域全体の
活動として運転者講習会や城端ひま
わりプロジェクトの運営協力等を行
っています。

また、各区長、地区役員方のご協
力により納入いただいた車両割賛助
金を南砺市交通安全協会本部へ納入
しており、その賛助金の一部は支部
活動支援費として各地区へ還元して
います。

令和4年度は南砺地区でのバイク
ライダー、自動車死亡事故が多発し
ました。

私、現在はまるまる太った相撲取
り状態ですが、昔は少しバイク乗っ
ていた時代がありますので、バイク
などの楽しみもわかるつもりです。
ですが、第三者を巻きこんでの、痛ま
しい事故が続きました。今後とも一
層交通安全啓蒙活動等に取り組んで
いきたいと思っておりますので皆様のご協
力をお願いします。



最後に令和5年度南砺市交通安
全協会年間スローガン最優秀作品
に選ばれた4作品をご紹介します。
いただきます。

◎小学生の部

「わたるなら 手をあげアピール
おうだんほうとう」

◎中学生の部

「身を守る 照らすライトと 反射材」

◎一般の部

「あげた手に 笑顔でゆるゆる ゆとりの運転」

◎高齢者の部

「なぜ急ぐどこにも行かない 目的地」

「わかっちゃいるけど だまされそうです」

南山田地区防犯組合

八畑 豊四郎



私たちを取り巻
く環境・社会情勢
の移りようは年々激
しくなっているように感じられ
絶えずその対応を求められていま
す。

3年も続くコロナ禍の影響です
っかり住民の交流が停滞気味にな
ってしまっ
たなか、wit
hコロナの時
代へ向けて以
前にもまして
活動活発化さ
せねばならな
いと思
います。



近年、情報通信の社会はあらゆる
ものがネットにつながり随分と
便利になった反面、それを悪用し
た犯罪や様々な社会問題も身近で
発生しており私たちにも被害が降
りかかってくることもおかしくな
い今日この頃です。

それに対応するには、今、警察
署や市の生活安全課そして防犯協

会や防犯組合等はもちろん住民福
祉を担う方々からも、そしてテレ
ビや新聞などのマスコミからも絶
えず犯罪情報発信されています。

私たちのそういった情報に耳を
かた向けて犯罪の危険を敏感に感
じ取って対処するしかありません。
私たち一人ではどう対処して
いいかわからない時、家族や近所
の人そして相談先に迷ったら手っ
取り早く

警察相談
専用電話
#9111番



にかけて相談してみてください。

自然の脅威に対する災害も防災
の備えが大事ですが、防犯も悪人
からの被害に遭わないように普段
から家族との連絡方法や合言葉な
どを決めたりして備えるようにお
願いします。

防犯組合は地元住民の安心安全
の確保の一翼を担っている組織で
す。

大事なあなたの財産を守る



「みなくる会は、どこでやっておら

敬老会終了後、「楽しかったわ。」
花が咲いたように綺麗でした。

「みなくる会は、どこでやっておら
敬老会終了後、「楽しかったわ。」
花が咲いたように綺麗でした。



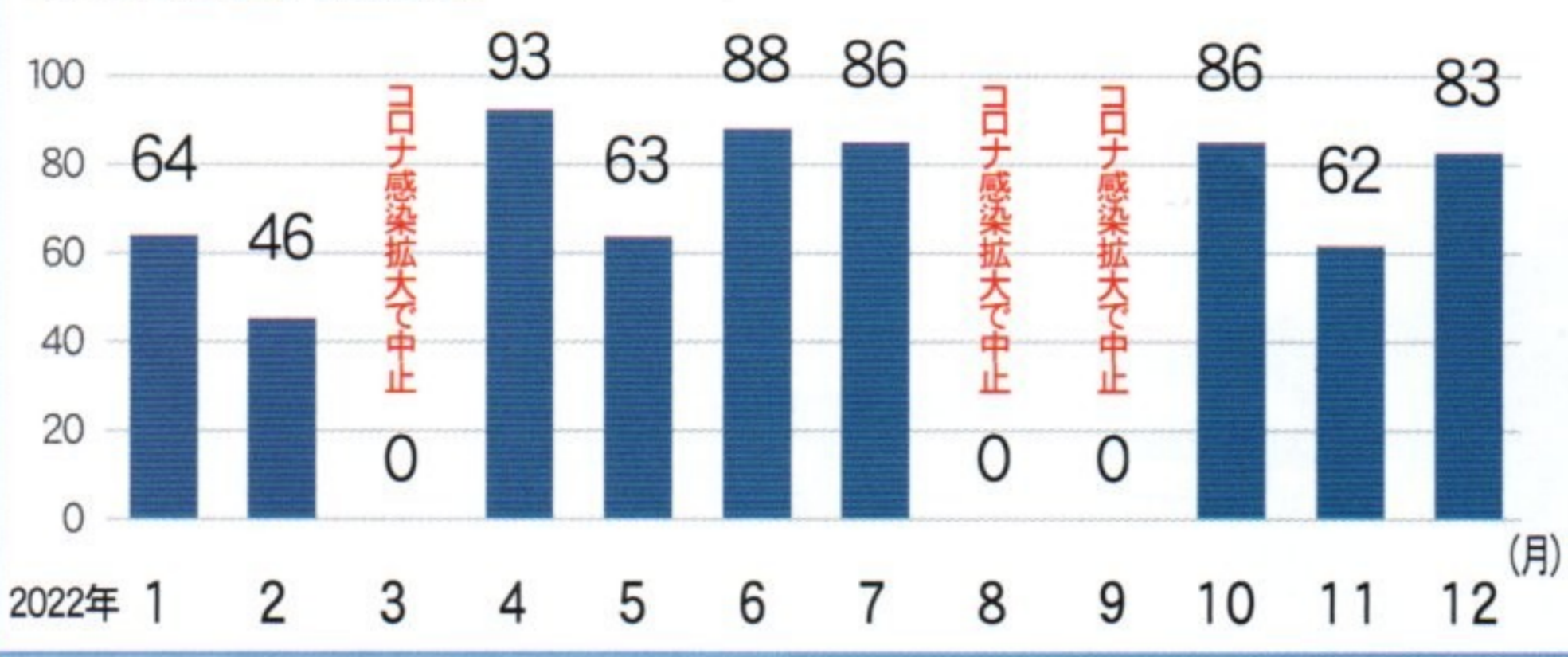
健康・福祉部会
副部長 松 敬子

今年度は、ウィズコロナで制約のあるなか、2年ぶりに敬老会が開催

れるが？」といろんな方から、声をかけていただきました。みなくる会の活動を知っていただける、いい機会となりました。

高齢者世帯訪問を民生委員に依頼し、安否確認と困りごと相談をしています。だれでも型いきいきサロンは、コロナ感染拡大で約半数の地区が活動休止中ですが、状況を見ながら再開を働きかけます。地域福祉推進員やボランティアのご協力が必要なので、よろしくお願いたします。地域福祉推進員は令和5年4月1日改選です。

みなくる会利用者数



南山田18地区別 人口&世帯数

※外国籍・複数外国籍を含みます。

2023年1月末 (南砺市人口統計値より)

地区	世帯数	男	女	合計(人)	人口割合
信末	81	113	122	235	8%
是安	93	138	137	275	9%
末広町	99	92	115	207	7%
栄町	80	94	102	196	6%
野田	260	280	311	591	20%
金戸	150	237	258	495	16%
国広	27	44	40	84	3%
千福	53	65	85	150	5%
野口	30	47	49	96	3%
塔尾	24	45	45	90	3%
上見	28	44	46	90	3%
上原	12	13	12	25	1%
西原	10	15	19	34	1%
南原	15	20	15	35	1%
京塚	26	34	23	57	2%
大窪	58	94	89	183	6%
細木	51	62	88	150	5%
北陸病院	34	21	15	36	1%
合計	1131	1,458	1,571	3,029	100%

(再掲) 外国籍・複数外国籍 18地区合計

外国籍	72	37	37	74	2%
-----	----	----	----	----	----

南山田 年齢層別人口

※外国籍・複数外国籍を含みます。

2023年1月末 (南砺市人口統計値より)

年齢層	男	女	合計(人)	人口割合
0-6	47	61	108	3.6%
7-12	64	68	132	4.4%
13-15	35	42	77	2.5%
16-18	51	37	88	2.9%
19-20	20	31	51	1.7%
21-30	120	113	233	7.7%
31-40	132	125	257	8.5%
41-50	206	181	387	12.8%
51-60	171	170	341	11.3%
61-65	92	88	180	5.9%
66-70	110	128	238	7.9%
71-80	280	279	559	18.5%
81-90	103	176	279	9.2%
91-100	27	70	97	3.2%
101-	0	2	2	0.1%
合計	1,458	1,571	3,029	100%

65歳以上独居世帯

区分	男	女	計
65歳~69歳	7	5	12
70歳~79歳	17	26	43
80歳以上	8	39	47
合計	32	70	102

(独自調査値 2023年1月末)

70歳以上のみ高齢者世帯

区分	世帯数	人数
2人世帯	103	206
3人世帯	7	21
合計	110	227

(独自調査値 2023年1月末)

社会福祉法人 南山田ネットワーク
南砺市社会福祉協議会

南砺市の
高齢者の生活支援



南砺市社会福祉協議会の取り組み(事業)



南砺市の「高齢者の生活支援」メニュー

国広

国広地区の状況

南山田の西部に位置し、南は千福、東は金戸、北は細木、西は京塚に接する約32ヘクタールの地域である。昭和52年に圃場整備が行われ、現在の姿となりました。

現在25所帯76名が住んでおり、65歳以上が約40%と高齢化が顕著である。

また、約20年来より就学児童が少なく、児童会は金戸と合同活動しています。

国広公民館は、旧城端小学校を解体撤去する際、音楽室などを住民が総出で協力し移築したもので、昭和52年に竣工しました。

国広の由来と歴史

前身である国広野の開発が本格化し始めたのは、山田野の新田開発が寛文13年(1673)に入植農民の配分、そして村立てが決まった以後である。特に村内を流れる原川用水が整備されたことで、新

開が一段と進んだ。

国広野には北の細木境に金沢街道が通り、また野田より湯涌・五箇山へと通じる大街道が南北に走り、金戸から臼中に通じていく樋瀬戸街道と交差している。加賀藩の重要な道であった。

明治22年(1889)までは別々の一村であった国広新、大西新、金戸新、経塚野新などの地名が、「国広」と正式に村名として定まったのは、昭和27年の町村合併の時である。

五ヶ村神明社(細木堂)

村中を流れる原川用水は山田新田用水に注ぎ、藩政時代から昭和の桜ヶ池の完成まで国広野新田、山田野新田に大きな役割を担っていました。

五ヶ村神明社は山田新田用水の守護神として、また住民の氏神として江戸時代に鎮座しました。

氏は細木、縄蔵、天池、大塚、柳堀、大窪、国広、赤坂の住民である。

3月21日と8月21日は「五ヶ村の祭り」と言い、特に8月の祭りに立つ踊りは人出が多く盛大で近

郷に名高く、また祭礼行事として大相撲が奉納され、東西砺波の力士が集って、村相撲としては大変人気がありました。近郷近在から多数の見物人が詰めかけてきて、その名も高かったが、現在は衰退してしまつた。

なお、今年の8月21日に鎮座350年記念祭が行われる予定で、各種イベント(巫女舞やフリーマーケット、小学生以下を対象とした宝探しなども併せて開催される予定です。



公民館前の地蔵堂

国広には5ヶ所に地蔵堂があり、

圃場整備の時に点在していた各堂を集めて移設したものである。地蔵堂には城端時絵の白漆を施した聖徳太子像が安置されているが、太子は貴いマレビト(来訪神)で民衆に恵みを与えに来るものと信仰された。同じく樋瀬戸街道の「銭坂の坂」の途中にあった水天像も祀っており、新開の地として豊作と水利を祈願するものであったと思われる。



湧き水(地下水)

圃場整備前の国広には7ヶ所の湧き水があり、田を潤していた。川にはたくさん魚がおり、主にドジョウを取って食用とし、また半湿田にはタニシが多く、好んで食べていたそうです。

センター趣味の教室紹介

民謡教室

毎週土曜日、西村豊翠馨師範先生のご指導のもと、午前10時～11時30分の間、和気あいあいと楽しく、時には厳しく、練習しています。

10年前と比べ、多少の入れ替えはありましたが、常時7～8名の参加で活動しております。

メンバーも高齢化はしておりますが、生涯趣味として、元気に活動しています。

ただ、続くコロナ禍のため、発表会の開催も難しく、先生の指導も今までの月2回を今年からは月1回でお願いしております。

内容は、

「福光めだた」や「むぎや節」などを中心に指導をしております。



昨年、南山田地区の敬老会&文化祭にて出演の依頼を受け、久しぶりに観客入りの舞台上で踊らせて頂き、感謝するとともに、熱のこもった舞台となりました。

現在はデイケアや地区サロンなどに、ボランティアとして出演させていただき、練習の成果を披露させていただいております。

活動時は、「となみ野乃会」という名称で出演しておりますので、ご希望があればぜひ！お声がけをお願いいたします。



格好良く美しく



南山田地区にこだわらず他の地区の人も加わり楽しんでいきます。地区の皆様、ストレス解消や、運動不足の解消に、年齢にこだわらず、一緒に踊りませんか？

是非ご参加を

お待ちしております。

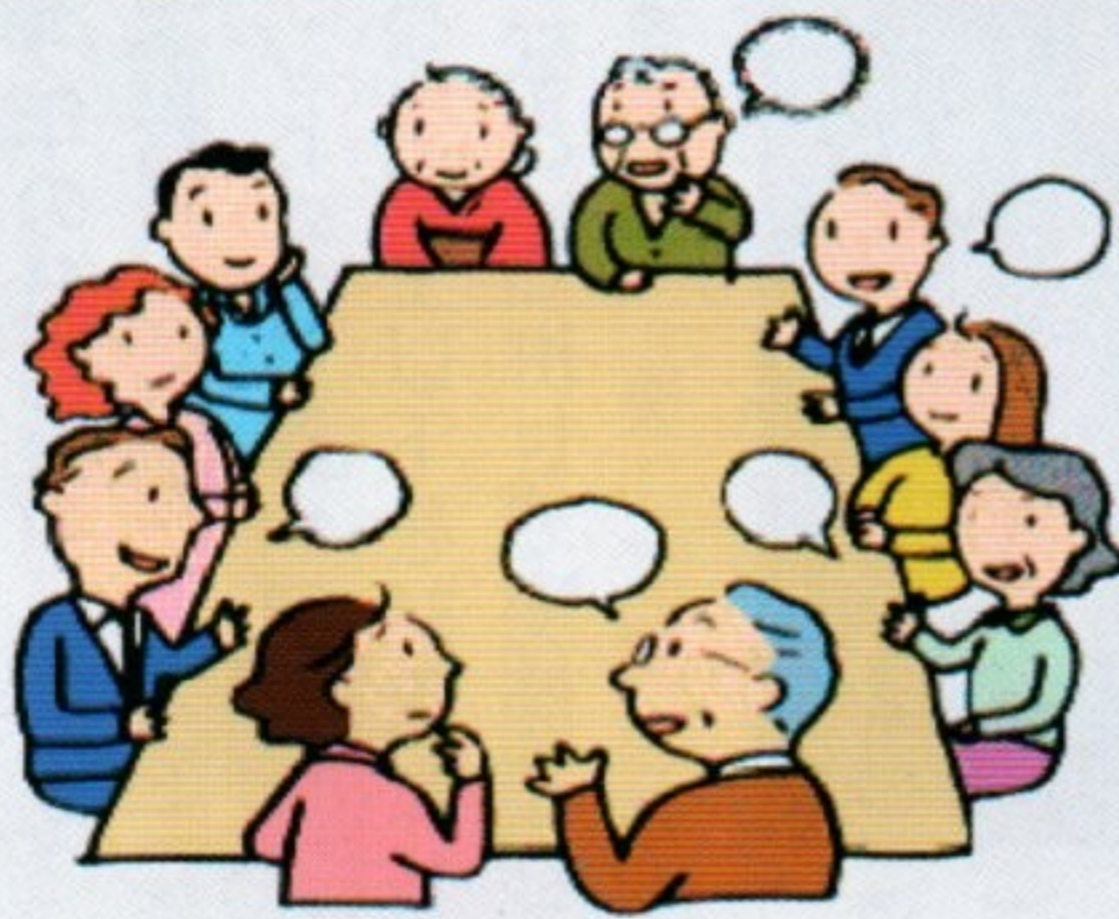
編集後記

今年も役員各位のご協力のもと、令和4年度末「会報 みなみやまだ」をお届けいたします。

各団体・各部会の事業内容や活動報告など、1年間頑張られた成果をご報告致します。

それぞれの活動内容は、紙面には収まりきれませんが、少しでもお伝え出来れば嬉しく思います。

だより会議(コロナの為、会合は中止いたしました)



センターでは毎月、

「会報 みなみやまだ」

を発行し、各行事の予定や報告をのせております。

会報は、全戸配布しており、地

区民の皆様もご覧になつておられる事と存じます。

HPに掲載されておりますので、左記より回覧下さい。

南山田地域づくり協議会ホームページ
<https://minamiyamada-kc.7104.info/>
スマートフォン用QRコード



ホームページに掲載

地域づくり協議会は、南山田地区の活性化を目指し、役員各位のご協力のもとこれからも頑張ります。

皆様のお声を大切にし、ご意見を参考にしながら、次年度もますます活力ある事業になるよう、日々邁進する所存です。

地域の皆様方の温かいご支援、ご参加を心よりお願い申し上げます。

(南山田地域づくり協議会事務局)

